

# 在宅取組型（保育園）

学校名等	飛騨市 増島保育園
実施期間	平成29年7月の2週間
会場	自宅
参加人数	全園児（159名）・保護者
学習課題（分野）	チャレンジキャンペーン 『早寝・早起き・朝ごはん』
運営者の願い	就学前の大切な時期なので、保護者に「早寝早起き朝ごはん」の大切さを知ってほしい。そして、キャンペーンを通して、わが子によい生活習慣を身につけさせ、元気に毎日が過ごせるようにしてほしい。



**保護者役員が中心となった活動**

◎「幼児学級だより」において取組の提案をされ、取組後には次の活動に生かすためのアンケートを実施されている。

◎「早寝早起き朝ごはん」全国協議会の資料を活用することで、保護者や園児の興味関心が高まる工夫をされた。

## 取組の内容

**<取組に至るまで>**

「家庭教育学級」（幼児学級）を担当する保護者役員が、例年「在宅取組型」として継続されている活動の良さを確認し、「幼児学級だより」によって全保護者へ取組の提案をした。「あいさつ」については年間を通しての取組提案をし、家庭での「あいさつポスター」の掲示や親子で日々話題にすることなど、「在宅」による取組の良さを共有し大事にしていく家庭教育を推進した。

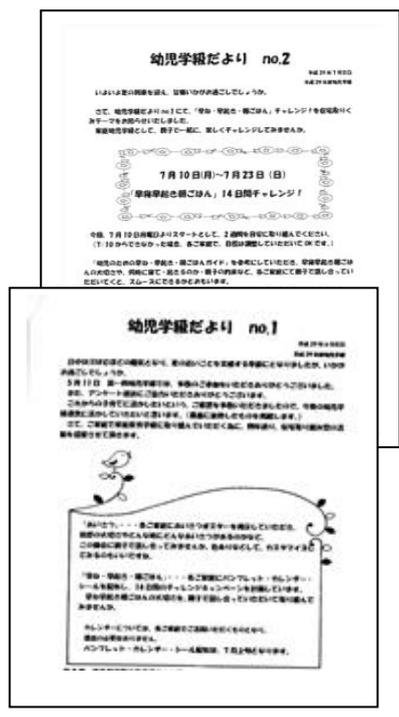
- <取組の工夫>**
- ① 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会発刊の、シールつき取組カレンダーを活用した。
  - ② 家庭での具体的な取組や朝食レシピについて学ぶことができる「早寝早起き朝ごはんガイド」を紹介し活用につなげた。
  - ③ 「わが家の約束」運動となるチャレンジキャンペーンの取組を、2週間という無理のない日数を目安に設定した。
  - ④ 「早寝早起き朝ごはん」の大切さについて、ガイドを参考にわが子に伝えることや、何時に寝て何時に起きる等について親子で話し合うように提案した。
  - ⑤ 「幼児学級だより」を通して、各家庭の都合に合わせて取り組むことや、親子と一緒に楽しくチャレンジすることを伝えた。また、子どもに対して、ポジティブな言葉や肯定的な言葉をかけ、家族で協力して取り組む大切さについても伝えた。

**継続し位置づいている「在宅取組型」**

例年取り組まれている「在宅取組型」の活動が、各家庭に定着した取組となっている。

気楽に取り組んでもらうために、取組カレンダーを提出することはせず、簡単な事後アンケートを実施することのみにされている。さらに継続取組をしたい家庭には、全国協議会HPからのダウンロードができる情報を伝えられた。

- <保護者の感想>**
- ・幼児期に基本的な生活習慣をしっかり身につけることの大切さを改めて感じた。早寝早起きなど、これからも親が意識してつけていきたい。
  - ・早く起きることで時間に余裕ができ、親自身もしっかりとした生活リズムを意識した生活ができるようになった。



- <取組の成果>**
- ・ガイドを活用することにより、生活習慣に対する保護者の意識が高まった。
  - ・取り組みやすいカレンダーを活用した在宅取組型の活動が、各家庭に無理なく定着した。
  - ・目標や約束を、わが子の成長に合わせて家族で話し合っ決めていくことにより、家庭内の関心が高まった。

